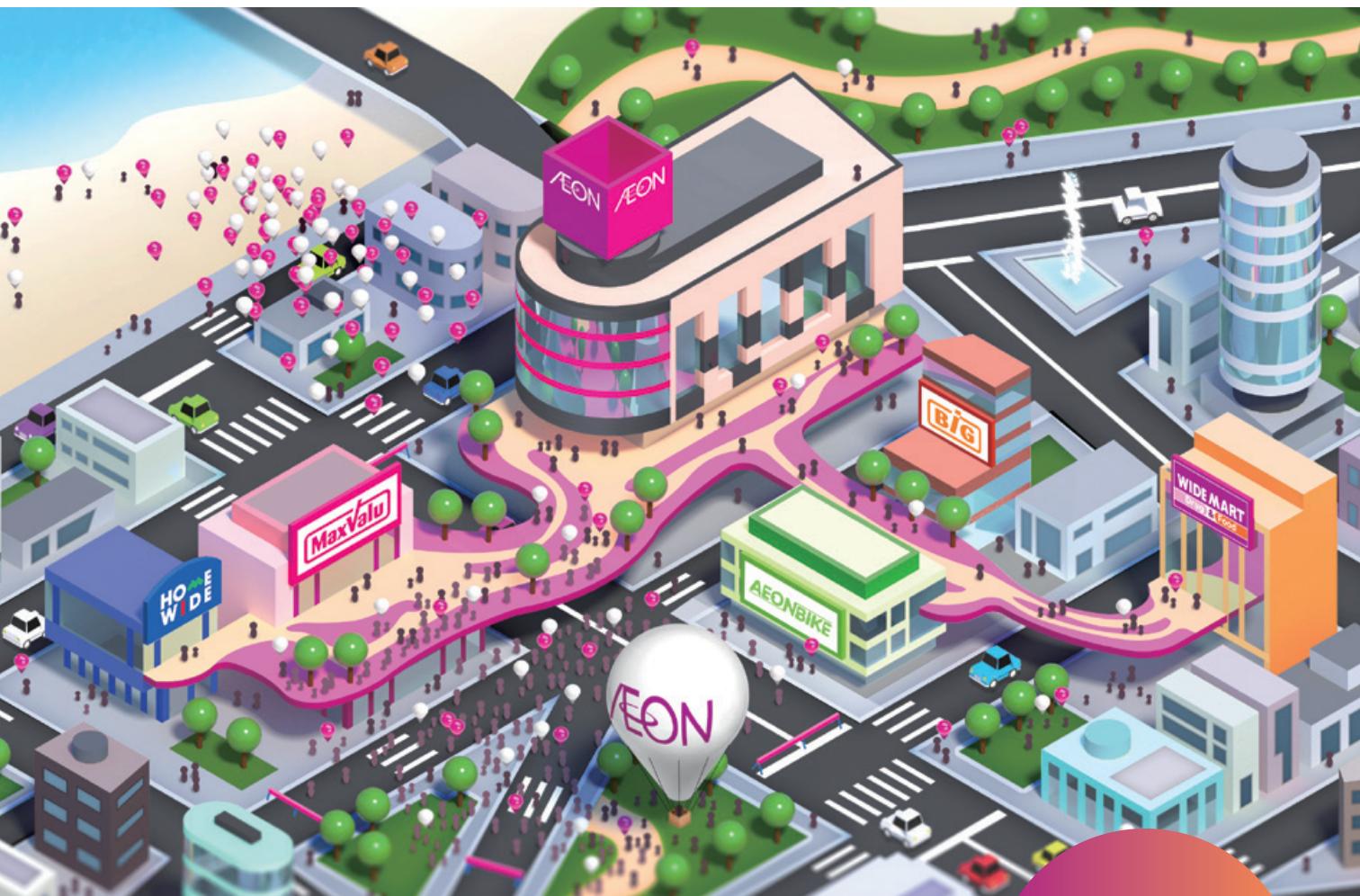




イオン九州株式会社

証券コード:2653



# AEON KYUSHU REPORT

# 2020

第49期 中間報告書

2020.3.1 ▶ 2020.8.31

2020.9.1

新生「イオン九州」  
誕生

## 九州でNo.1の 信頼される企業への挑戦

イオン九州店舗数

福岡	121店	宮崎	31店
佐賀	27店	熊本	41店
長崎	35店	鹿児島	20店
大分	38店	山口	1店
合計 <b>314</b> 店			

※2020年9月1日現在

植樹本数

**813,200**本

イオン九州 717,238本  
マックスバリュ九州 95,962本

※1992~2019年度

マイバッグ持参率

**74.7%**

有料レジ袋収益金贈呈金額  
合計6,498,374円

※2019年度

売上高

合計 **434,136** 百万円

イオン九州 205,477百万円  
マックスバリュ九州 182,627百万円  
イオンストア九州 46,032百万円

※2019年度

店頭リサイクル回収量

約 **2,071**t

前年比 | イオン九州:116.7%  
マックスバリュ九州:107.6%

※2019年度

ご当地WAON(九州版)寄付金額

**35,807,758**円

これまでの累計寄付総額 285,685,700円  
累計発行枚数 1,006,340枚

※2019年度

ペットボトルキャップ回収量とワクチン相当量

142,870,550個  
**71,435**人分

※2019年度

イオン九州、マックスバリュ九州、イオンストア九州はひとつに

## 新生「イオン九州」誕生へ



代表取締役社長  
**柴田 祐司**

代表取締役副社長  
**佐々木 勉**  
(旧マックスバリュ九州株式会社 代表取締役社長)

## 3つのチカラを、 九州のチカラに

平素より格別のご高配をたまり厚く御礼申し上げます。

イオン九州株式会社、マックスバリュ九州株式会社およびイオンストア九州株式会社は、2020年9月1日付で経営統合し、新生「イオン九州株式会社」が誕生いたしました。

今回の統合により九州・山口県の8県に314店舗超の体制となりました。当社を取り巻く経営環境が絶えず激しい変化にある中で、経営基盤のさらなる強化とシナジーの創出、そしてより働きがいのある会社を共創するために、各社がこれまで培ってきたノウハウや経営資源を融合し、当社ならではの地域密着経営の追求と当社固有の価値創造に努めてまいります。

今後とも、当社へのご理解を深めていただきますと共に、これまでと変わらぬご支援、ご指導をたまりますようお願い申し上げます。

2020年10月

## ピンチはチャンス 新しい生活様式で飛躍を目指す

代表取締役社長 柴田 祐司



### 感染症対策で安心して買物ができる環境を構築

3月から4月にかけて、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延による外出自粛や、行政の要請に基づいてショッピングセンター内の専門店の営業を停止したことにより、全体的に来店のお客さま数が減少し、かつ専門店さまへの賃料減免を行ったことなどで、利益が落ち込みました。

また売上については外出自粛の影響で、これまで安定的に計上されていた、いくつかの売上がまさに「蒸発」しました。夏の水着などは典型的で、海水浴や近所のプールに行かなくなったことや、学校が閉鎖されたこともあり、スクール水着の売上が大きく落ち込みました。

あるいは外出しなくなったため、衣料品全般が売れなくなっています。特に式場で行う結婚式が減り、かつ葬儀も家族葬が増えたことによってフォーマルウェアが売れなく

なり、各地で開催されるはずだった夏祭りが中止になったことで、浴衣が前年同期比で97%も減っています。

このように売上が蒸発したものがあ一方、大きく売れたものもありました。本来、冬の需要がメインで夏の需要がほとんどないマスク類が売れましたし、近隣店舗からお客さまのご自宅に商品をお届けする「イオンネットスーパー」の売上が大きく伸びました。

私たちは新型コロナウイルスと共生していかざるを得ません。ワクチン開発の状況にもよりますが、消費全体がコロナ前の水準まで戻るには、あと1年半くらいかかるでしょう。こうした状況の中で、「イオンの防疫への誓い」を宣言しました(P.7参照)。イオンネットスーパーなどデジタル技術を用いてお客さまのタッチポイントを減らすと共に、店舗施設においては社会的距離を取りやすい導線づくり、換気の仕組みなど、ご来店いただいたお客さまに安心してお買物していただけるような施策を講じています。

### 新しい生活様式への具体的な取り組み

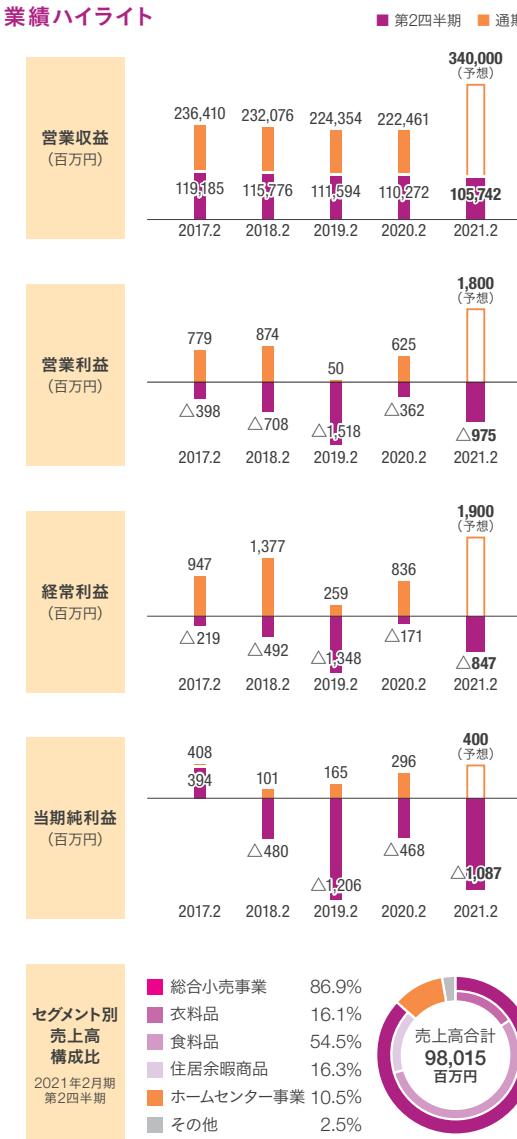
これから先のことを考えると、「新しい生活様式」が定着するかどうか、現時点ではまだ充分見えていないのですが、ひとつはっきりしていることはあります。

それは、仮に新型コロナウイルス感染症のリスクが後退したとしても、需要が元に戻らないものと戻るのがあるということです。戻らないものをいつまでも追いかけて、そこに労力を割いたとしても売上は回復しませんから、そこは売場面積も含めて縮小する。その一方で、これから伸びると思われるものは積極的に売場を拡充していく。衣料品の売れ行きはまだ当分、厳しい状態が続くと思われませんが、<sup>かしこ</sup>だとしたら畏まった外出着だけでなく、ホームセンターで販売している“ヤッケ”のようなものも売場に並べる。売上が蒸発した商品の代わりに新しい商品群や、新しい生活様式に合わせて必要になる商品をどう見つけていくかが、この厳しい環境下で勝ち残っていくために必要になってくると思います。

あるいは今、女性が「マスクをしているから化粧をしない」ということで、化粧品の売上が落ちていますが、ワクチンが開発されてマスクを外せるようになったら、ここは元の売上に戻ります。そればかりか、もし百貨店のような競合相手がダメになっていけば、そこが扱っていた分をこちらの売上に引っ張ることが出来ます。

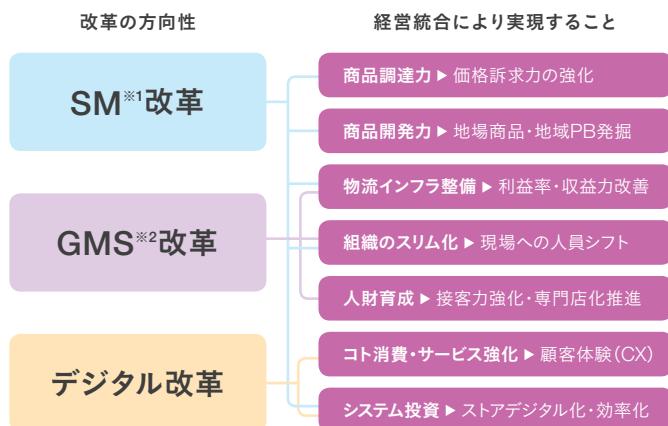
今後、しばらく景気は厳しくなるでしょう。企業の倒産件数が増え、残業時間も減っていくとすると、世の中のお金の回り方が悪くなりますから、モノの値段は確実に下がっていきます。そこでお客さまの日々の生活を応援する意味も込め、9月1日に3社合併による新生「イオン九州」

### 業績ハイライト



※2021年2月期(通期)につきましては、2020年10月7日に発表した業績予想値であり、2020年9月1日付のマックスバリュ九州株式会社およびイオンストア九州株式会社との経営統合の影響を含んでおります。

### 新生イオン九州で実現すること



### 新生イオン九州は収益力の強化とさらなる成長による九州でNo.1の信頼される企業を目指します

「SM改革」「GMS改革」「デジタル改革」それぞれの改革を実現し、商品力やコスト面で3社合併のシナジーを発揮できるように取り組んでまいります。特に価格訴求力・商品開発力の強化と、デジタル改革によるストアデジタル化の推進や業務の効率化を実現させてまいります。

※1 SM(Super Market)：スーパーマーケット  
 ※2 GMS(General Merchandise Store)：総合スーパー

誕生後、食料品や日用品を中心に最大1,000品目を、お値打ち価格でご提供する「本気の価格 最大1,000品目」を実施しました。

その他、旅行に行けなくなった分、何か別のことにお金を使おうと考えるお客さまもいらっしゃいますから、カスタマーエクスペリエンスを高めるような施策に取り組む必要がありますし、外出控えて健康維持に対する意識が高まりますから、それに対して何を提供できるのかも考えなければなりません。こうした様々な施策を組み合わせ、売上や利益の回復を目指します。

### 3社合併で期待されるシナジー効果

9月1日付をもってイオン九州はマックスバリュ九州、

およびイオンストア九州と合併し、新生「イオン九州」となりました。これによって総合スーパーの「イオン」、食品スーパーの「マックスバリュ」、ディスカウントストアの「ザ・ビッグ」の他、自転車事業の「イオンバイク」、ホームセンター事業の「ホームワイド」など全部で314店舗となり、統合によるシナジー効果を発揮しながら事業を展開してまいります。

今回の合併による効果ですが、すでに昨年から、同じ商品でも利益率の高い方を仕入れ先にするなど取引先の集約を行っており、それによる経済効果がしばらく期待できるでしょう。

加えて、これから取り組んでいくのが本社機能の人員削減です。たとえば合併した後の人員は、「1+1=1」になるのが理想で、「1+1=2」になってしまえば、合併効果が薄らいでしまいます。合併直後の本社人員は800人ほど



ですが、これを2022年までに半分近くまで減らすのと同時に、本社から現場に人員をシフトさせることによって、売場の強化を図ります。

とはいえ、単に現場の人員を増やすだけでは意味がありません。デジタルを強化することで一人ひとりの生産性が上がるような施策を講じることによって、店舗の生産性向上を目指します。あるいは販売促進に関する部分についても、これまでは各社が行っていたことを1社に集約できますから、徐々にコスト削減効果が高まっていくと期待しています。

また、合併によって様々な部分が集約され、コスト削減効果が期待できる一方、商品本部についてはむしろ強化していきます。イオン九州の各店舗はこれまで地域に今一歩、入り込めていないのが弱点でしたが、これからは県単位でバイイング・パワーを向上させるのと共に、マーチャндаイジングを強化し、特に食品についてはもっと地域に根差したものを扱うことで、競合店と今以上に戦える体制を整えます。

### デジタル投資で顧客満足度を向上させる

そして、業務効率化や生産性向上を図って生み出した資金で、デジタル投資を行います。

デジタル投資のメリットは、お客さまの負担を減らす面と、イオン九州の業務効率化をさらに引き上げる効果が期待できることです。

お客さまにとってお買物の一番の負担は何といってもレジ待ちです。そこでお客さまのスマホにダウンロードしたアプリで商品バーコードをスキャンさせ、クレジットカード

決済が出来るシステムを、マックスバリュの店舗から導入します。このシステムを用いれば、お客さまはレジを通ることなくお買物が出来るようになります。

またイオン九州側にとってのデジタル化は、たとえば発注システムにAIを導入することによって、品切れする前に商品を自動発注する仕組みなどが考えられます。発注作業をAIに任せることで人の手を介した作業時間が減り、担当者にゆとりが出来るので、それらを用いて顧客満足度の向上につなげます。

ECマーケットの規模拡大で店舗を持つ小売業には厳しい時代ですが、デジタル化のメリットは私たちにも決して小さくありません。工夫を積み重ねることでピンチをチャンスに変えていきたいと思えます。

### スマートフォンでスキャン・決済が出来る



スマートフォンを利用し、お客さまご自身で商品をスキャンしながらお買物をし、決済が出来るシステムです。

TOPIC  
1

## 感染症拡大防止に向けた イオンの取り組み

イオンは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、専門家による科学的根拠に基づく助言をもとに防疫基準などを示した「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」を制定しました。イオンが取り組む事項として、①従業員からの感染リスク低減、②施設内での飛沫感染・接触感染リスクから防ぐ対策基準を示すとともに、お客さまへの感染防止策への協力をお願いをしています。

イオンは「お客さま第一」の基本理念のもと、企業市民として地域のお客さまとともに、地域社会の発展と生活文化の向上に貢献することを目指してまいりました。防疫が生活の一部となる社会を実現し、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の「安全・安心」な生活を守ってまいります。

### イオンの防疫への誓い

- イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により、防疫対策を実行します。
- イオンは、お客さまと一体となり防疫体制を構築します。
- イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します。
- イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します。

### 取り組みの一例(抜粋)

#### 施設内換気



強制換気システムを使い、施設内には十分な外気を取り込んでおります。(強制換気システムのない小型店舗では出入口を開放しています)

#### アルコール消毒



お客さま用のアルコール消毒液の設置と買物カゴ、カートの吹き上げ消毒を行っています。

#### 従業員の体調管理



従業員の体調管理を徹底します。従業員出入口で、ガードマンまたは店舗責任者が検温・手指消毒・マスク着用をチェックしています。

TOPIC  
2

## SDGs実現に向けた さまざまな取り組み



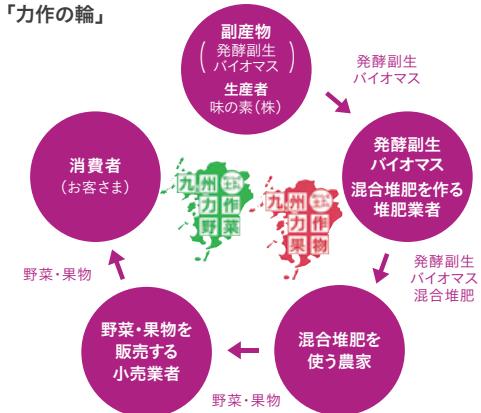
低炭素の活動を通し九州の農業を元気に  
「九州力作野菜®」、「九州力作果物®」プロジェクト共同体

### 第3回ジャパンSDGsアワード 「SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞」受賞

このプロジェクトはイオン九州株式会社と味の素株式会社および農業団体など約60の企業・団体が共同して低炭素の活動を通して九州の農業を元気にするバリューチェーンを力作(構築)することで、関係者すべてが利益を享受し、持続可能かつ拡大再生産が可能なビジネスモデルを確立していることが評価されました。味の素株式会社九州営業所がアミノ酸を製造する過程などを見直し、年間600kLの重油の不要化にも貢献。「九州力作野菜®」と「九州力作果物®」の生産者数は約200名、栽培面積は約100haと、開始から5年間で約5倍に拡大しており、九州の農業の活性化につながっています。

イオン九州は九州のイオングループの代表としてオープンイノベーションにより、さまざまな企業・団体と協力することで、SDGsに掲げられた課題の達成に取り組んでまいります。

「九州力作野菜®」、「九州力作果物®」  
プロジェクト共同体によるバリューチェーン  
「力作の輪」



### 有機ポテトチップスを カルビーと共同開発



イオン九州株式会社とイオンアグリ創造株式会社およびカルビー株式会社は、それぞれの事業分野で連携し、「大分県産 有機栽培のじゃがいも」を使用「ポテトチップス」の限定販売を2020年8月6日より開始。2016年より土壌づくりを行い、2017年から試験栽培を経て、2020年7月に収穫された有機栽培じゃがいも約10tを使用しました。

### 「福岡市環境行動賞」 最優秀賞を受賞



福岡市が、環境の保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体・学校・事業者を表彰する「福岡市環境行動賞」において、事業者部門の「最優秀賞」を受賞しました。特に評価されたのは「イオン チアーズクラブ」での環境学習や、天候や気温に応じて発注を行う独自のシステムによる食品ロス的大幅削減でした。

### DBJ環境格付で 7年連続最高ランクを取得



「DBJ環境格付」は、株式会社日本政策投資銀行が開発したスクリーニングシステムにより、企業の環境経営度を評点化する制度です。当社は7年連続で最高ランクを取得しました。今後も環境配慮型の商品の販売や廃棄物の削減などの環境への取り組みを行ってまいります。

## イオン原店 11月19日オープン予定

福岡市早良区原で43年にわたり営業してきた「旧イオン原ショッピングセンター」跡地に、「イオン原店」をリニューアルオープンいたします。ベッドタウンとして住宅が広がる、ファミリー層を中心に幅広い年代の方がお住いの地域となっています。衣料品ではインナーカジュアルを導入し、お客さまの毎日の生活に寄り添います。食料品では出来立て・美味しさ・健康にスポットを当てた近所の冷蔵庫代わりとして身近な存在を目指し、生活用品ではシンプルかつ上質な商品で暮らしをコーディネートする提案を行います。ヘルス&ビューティでは高まる健康志向に対応した商品の拡充と話題の最新メイクコスメやオーガニック素材のコスメを品揃えいたします。

コンパクトなショッピングセンターならではの心地良さ、スマートショッピングを提供し、家族みんなで立ち寄っていただけるような、『いつもの場所』になるショッピングセンターを目指します。

※イラストはイメージのため、実際とは異なる場合があります。



## マックスバリュ梅田店 9月24日オープン

長崎県佐世保市梅田町に、「マックスバリュ梅田店」がオープンいたしました。

地域のお客さまの毎日の暮らしに必要な生鮮食料品、加工食料品、酒、日用雑貨などを取り揃え、お客さまの生活のお役に立てるお店を目指して、年中無休毎日24時間営業いたします。

生鮮食料品は新鮮な旬の食材をお求めやすく、お客さまのニーズに合わせて使いやすい分量でお求めいただけるよう小分け、ばら売り商品を品揃えいたします。

また、お惣菜コーナーでは、選ぶのも楽しいお弁当、お手軽な丼物など店内製造で提供いたします。当社オリジナル「鶏もも炭火焼」、あごだしに漬けた「鶏もも唐揚げ(あごだし)」など、こだわりの商品を販売いたします。

当店ではお客さまがスムーズなお買物ができるようにセルフレジ、セミセルフレジ、キャッシュレスレジを導入いたしました。



## ザ・ビッグ多布施店 10月2日オープン

佐賀市多布施の「マックスバリュレッドキャベツ多布施店」を業態変更し、イオングループのディスカウント業態「ザ・ビッグ多布施店」としてリニューアルオープンいたしました。

地域のお客さまの毎日の暮らしに必要な生鮮食料品、加工食料品、酒、日用雑貨などを取り揃え、年中無休毎日営業いたします。

特に、生鮮食料品は、安さと鮮度にこだわり、お野菜や果物は「唐津市場」を活用。お魚は新鮮な丸魚・切身・お刺身を豊富に品揃えし、仕入れにおいては「佐賀魚市場」を活用します。お肉では銘柄牛の「佐賀牛」や、鶏肉では「あたりどり」など、地場商品を積極的に品揃えいたします。

生活様式の変化からご自宅で調理される機会が増えていることを受け、味付け商品やお得な冷凍畜産品を品揃えいたします。



## ホームワイドプロ高城店 9月10日オープン

大分市新栄町の「ホームワイドプロ高城店」をプロユースに特化したプロショップへ業態変更し、「ホームワイドプロ高城店」として生まれ変わりました。「PRO FIRST」をコンセプトとした建設業関連に携わる職人の方のニーズにお応えできる幅広い品揃えと価格にこだわったお店です。

大分市中心部から車で10分、足元圏3km圏内に10万人を擁する好立地に位置し、1977年4月の開店より多くのお客さまにご利用いただいております。

作業工具・金物においては、大分県最大級の品揃えを実現し、プロの職人の方にご満足いただけるよう、あらゆるニーズに対応できる約45,000種類の豊富なアイテムを取り扱っております。

店頭で取り扱いのない特殊な部材についてもお取り寄せでご対応いたします。



## 会社概要 (2020年9月1日現在)

商号	イオン九州株式会社
設立	1972年6月
資本金	4,815百万円
社員数	20,334名(社員5,260名、コミュニティ社員15,074名)
本社	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号 (092)441-0611

## 役員紹介 (2020年9月1日現在)

代表取締役会長	森 美樹
代表取締役社長	柴田 祐司
代表取締役副社長	佐々木 勉
取締役 常務執行役員	伊藤 文博
取締役 執行役員	南谷 和彦
取締役 執行役員	平松 弘基
取締役 執行役員	奥田 晴彦
取締役	吉田 昭夫
社外取締役	久留 百合子
社外取締役	青木 孝一
常勤監査役	伊藤 三知夫
常勤監査役	宮崎 雅典
社外監査役	阪口 彰洋
社外監査役	古賀 和孝

## 株式の状況 (2020年9月1日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	34,618,780株 (自己株式123,638株を除く)
株主数 (2020年8月31日現在)	イオン九州株式会社 6,713名 マックスバリュ九州株式会社 4,829名 ※イオンストア九州株式会社はイオン株式会社の完全子会社

## 大株主 (2020年8月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	12,335	65.5
イオン九州共栄会	530	2.8
イオン九州社員持株会	507	2.6
マックスバリュ西日本株式会社	480	2.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 九州電力口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	320	1.7
イオンフィナンシャルサービス株式会社	300	1.5
ミニストップ株式会社	296	1.5
株式会社西日本シティ銀行	245	1.3
株式会社大分銀行	214	1.1
株式会社福岡銀行	181	0.9

※持株比率は、自己株式を除く発行済株式の総数に対する持株数の割合であります。

## 株主メモ

単元株式数	100株
証券コード	2653(東京証券取引所JASDAQ市場)
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 <b>公告掲載の当社ウェブサイト</b> <a href="http://www.aeon-kyushu.info/">http://www.aeon-kyushu.info/</a>
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次ぎ事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

**住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**  
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されている株主さまは、口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。  
**未払配当金の支払について**  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 株主優待制度

### ご優待内容

当社決算日(2月末日)に所有株式数100株(単元株式数)以上保有の株主さまに対し、ご所有株式数に応じて次の通り「株主さまご優待券」(100円券)、または当社のネット通販サイト「AE STORE(イーストア)」でご利用いただけますネットポイントを進呈させていただきます。

なお、ネット環境がなくネット通販サイトをお使いいただけない場合は「ネットポイント」に替え全国のイオンのお店で使えるイオンギフトカードをお選びいただけます。

ご所有株式数	株主さまご優待券 (100円券)	ネットポイント/ イオンギフトカードのいずれか
100株以上	50枚	2,000円相当
200株以上	75枚	3,000円相当
500株以上	100枚	4,000円相当
1,000株以上	150枚	5,000円相当
2,000株以上	200枚	
3,000株以上	300枚	
4,000株以上	400枚	
5,000株以上	一律500枚	

### ご利用方法

- **株主さまご優待券** お買上げ金額1,000円ごとに、1枚ご利用いただけます。
- **ネットポイント** 当社のネット通販サイト「AE STORE」でご利用いただけます。
- **イオンギフトカード** 全国のイオンのお店で使えます。

### お客さま株主カード

全国のイオンラウンジをご利用いただける「お客さま株主カード」は、当社の株式を100株以上ご所有の株主さまへ進呈させていただきます。



### イオンラウンジ

(特別なお客さまだけのイオンラウンジをご利用ください。) イオンラウンジでは、お買物の合間にゆっくりおくつろぎいただけるよう、イオンラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しています。また、全国のイオンラウンジがご利用いただけます。

※ イオン九州の株式を100株以上ご所有で「お客さま株主カード」をお持ちであれば、イオンラウンジ会員の資格を有します。ただし、ご所有株式が100株未満になった場合には会員資格は消滅します。

※ 「お客さま株主カード」の有効期間にご注意ください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、イオンラウンジは休止しております。新しい生活様式に沿ってお客さまの安全が十分確保できることを基準として再開の判断をさせていただきます。

(2020年10月現在)

## 24時間いつでも、どこでもお買物が楽しめる インターネットショッピングサービスをご提供

お買物時間を気にせず、いつでも、どこでも、お客さまにインターネットを通してお買物を楽しんでいただけるショッピングサービスをご提供しています。



おうちでイオン



<https://shop.aeon.com/netsuper/>

おうちでイオン  
イオンネットスーパー

インターネットで注文した生鮮品を含む食品類やお酒、お菓などを最短3時間でご自宅にお届けします。(地域によっては翌日以降の配達になる場合がございます。)



イオン九州 オンライン



<https://www.aeon-kyushu.com/>

Æ STORE

各地の旬の産品をはじめ、おせちやお歳暮などをご提供するグルメや暮らしの品等の総合サイトです。